

令和4年度の重点課題

・令和3年度新体力テスト校内(5年生)の総合評価のAB率37.5%, ED率11.6%である。(AB-ED)率25.9%

・男子・女子ともに「握力」、「上体起こし」は、例年通り県平均値かつ全国平均値より低い傾向が見られる。

・新型コロナウイルス感染拡大の影響から、テレビを見たりゲームをしたりするなど、室内で過ごすことが増加しており、運動やスポーツの機会が一層減少している。

・運動やスポーツに楽しさを見出しにくい児童がいる。

上記の課題を受けて具体的に取組んだ事項

①体育科での取組

・本時のめあてを示し、目標をもって学習に取り組ませる。

・単元の導入にオリエンテーションを行い、「する、みる、支える、知る」の観点から特に「支える・知る」を重点的に指導に取り入れ、実態に応じた参加の在り方を全児童が実感できる体育指導を進める。

②西っ子外遊びタイム、外遊びの取組

・各学年毎週1回、西っ子外遊びタイム(学級遊び)を実施する。教員も一緒になって遊ぶことで、みんなで外で遊ぶ楽しさを味わわせる。

・体育整備委員会を中心に外遊びを紹介し、遊びを通じて多様な運動を行う。

・外遊びの道具を整理し、外遊びを奨励する。

令和5年度新体力テストの結果 県平均値(令和4年度)・全国平均値(令和3年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	16.33	20.08	35.58	48.08	51.25	9.51	154.08	25.75	56.50	第5学年	14.94	15.63	39.84	38.42	29.05	10.06	141.63	11.68	50.89

県平均値かつ全国平均値未満

令和5年度新体力テストの結果 県平均値(令和5年度)・全国平均値(令和4年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	16.33	20.08	35.58	48.08	51.25	9.51	154.08	25.75	56.50	第5学年	14.94	15.63	39.84	38.42	29.05	10.06	141.63	11.68	50.89

県平均値かつ全国平均値未満

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第5学年	66.67	25.00	8.33	0.00	第5学年	29.41	41.18	23.53	5.88

学校独自の意識調査

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第1学年	85.7	9.5	0	4.8	第1学年	63.6	27.3	9.1	0
第2学年	83.3	11.1	5.6	0	第2学年	90.5	9.5	0	0
第3学年	72.2	11.1	5.6	11.1	第3学年	58.8	29.4	5.9	5.9
第4学年	46.1	38.5	0	15.4	第4学年	54.2	45.8	0	0
第5学年	66.7	25	8.3	0	第5学年	29.4	47.1	23.5	0
第6学年	94.7	5.3	0	0	第6学年	76.9	15.4	7.7	0

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

- ・単元計画を作成し、見直しをもって学習に取り組めるようにする。
- ・単元の導入にオリエンテーションを行い、「する、みる、支える、知る」の観点から特に「支える・知る」を重点的に指導に取り入れ、実態に応じた参加の在り方を全児童が実感できる体育指導を進める。
- ・ACPを授業の導入で握力等の技能向上に向けた「用具を操作する運動」「体のバランスをとる運動」を取り入れる。友達と協力することで、楽しく活動し、児童が自然と運動できる時間を設定する。
- ・ICTを活用し、運動のポイントを解説動画等から「知る」機会や、自分の動きを撮影し客観的に「みる」機会を設けることで、自分自身の課題を見付けられるようにする。

体育の授業以外で行う取組内容

- ・各学年2回、「西っ子外遊びタイム」を実施する。体育整備委員会を中心に全校遊び等を企画し、学校全体で体を動かす取組を進める。また、教員も一緒になって遊ぶことで、外で遊ぶ楽しさを味わわせる。
- ・体育整備委員会を中心に外遊びや握力向上に役立つ運動を紹介するなど、遊びを通じて多様な運動を行う

重点課題

- ・男子・女子ともに「握力」は、県平均値かつ全国平均値より低い傾向が見られる。
- ・「握力」に加え、「50m走」、「立ち幅跳び」においても男子・女子ともに県平均値かつ全国平均値より低い傾向が見られる。
- ・テレビを見たりゲームをしったりするなど、室内で過ごすことが増加しており、運動やスポーツの機会が一層減少している。それに伴い、持久力の低下がみられる。
- ・運動やスポーツに楽しさを見出しにくい児童がいる。

令和6年度の重点目標値

- 新体力テストの総合評価のAB率を、令和4年度の58.1%から60%以上に、ED率を9.7%から8%以下にする。(AB-ED)率50%以上。
- 児童アンケートで、1日の運動時間が30分以上の児童の割合を80%以上にする。
- 「握力」の結果を、令和4年度の5年生の平均値よりも、3kgアップを目指す。
- 「20mシャトルラン」の結果を、全国平均値±2回を目指す。